

国際社会人として必要な5つの領域を設定 具体的な30項目を指標とした成長イメージをもち

国際社会人を目指して 生きる力を育てます。

衣笠幼稚園のカリキュラムは 全てこの良質体験を得るためにあります。



沢登り

Feeling
心情
教育で培われる
心情

Manner
態度
反復教育によって習慣化、
定着化していく行動姿勢

Behavior
行動
教育によって培われる
自主行動形態

Individuality
個性
好き嫌いから生まれてくる
独自の性格、性分

Health
健康
身体の健全な発達



天然芝生園庭



幼児期の子どもに持たせたいもの それは本物の『意欲』

出来るだけ早い時期から『意欲』を持っていれば、人生の可能性が広がることは明らかです。子どもに『意欲』を持たせる方法、それは、子どもが真剣に挑み向かう体験機会を与えることです。自身の中から湧き出す意思に裏打ちされた本物の『自信』により、かけがえのない生きる力が生まれます。

やる気になって やり遂げた数だけ 自信ができる！

自然体験 宿泊保育

自然は子どもに四季折々の試練を与えます。

クラシックは2泊3日・アーバンは1泊2日。水しぶきの中、自分の手で掴み、足で探りながら進む沢登りは、達成した時に何かを成し遂げた、初めての感覚が潜在意識に残ります。自分が持った釣竿に魚がかかる感覚と重さを知り、手の中で容赦なく飛び跳ね逃げようとする魚を、必死で握りしめて生き物の凄さを知ります。どの子どもも、ひとまわり大きく育つ機会となります。



魚釣り

幼児期の良質体験が築く

“自信=Self-Confidence”は
人生の核

自信が人生にどれほど大切かはいうまでもありません。
幼児期に人生を乗り切る意欲の核になります。

スピリチュアル リアリティ

絵本やお話から仲間が共有する体験を持つことで、子どもの優しさ、正義感などの人生の核となる情操を育む時期になります。この時期は人生に二度とない、軽んじてはならない大切な時期です。夢と心を育てる、本気のファンタジーで子どもたちの想像力が膨らみます。



衣笠山

ランチピュッフェ

子どもたちが選んで食べるピュッフェのルールは、取った分は残さず食べることです。食べられる量だけを取らなければならないこと。自分が食べたいものと量を選んでいくことで、子どもたちの自決力、判断力が培われます。また、食事のマナーやお互いを思いやる心まで自然に体得させる場になります。
※アレルギー対応しています。
※有害な食材は一切排除しています。



ランチルーム

プレイチーム

異年齢の子どもが、自分の好きな遊びをすることにより、関わりあう子ども社会の中で、自然に社会的・情動的な学びを獲得します。



健康祭(園庭)

健康祭

練習の日々、できた・勝った喜びと負けた悔しさから挑む意欲が育ちます。技量や成果は、意欲の結果です。運動会は子どもの意欲の成長を愛でて認める機会なのです！！



音楽祭(京都府立文化芸術会館)

音楽祭『01(ゼロワン)指導法』

自由な子どもにとって合わせる音楽は、初めての窮屈な経験ですが、ストレスを生まない01(ゼロワン)指導法を通して、ひとつになる美しい演奏への目覚めは、子ども自身が「凄いことが出来た！」の達成感から、凜とした顔つきになります。



健康祭(園庭)

体験による
子ども自身が感じる達成感、
充実感が全てです。

個人目標の設定のしくみ

子ども一人ひとりに応じた、その時々具体的な成長課題を設定し、園と保護者が協力してひとつずつ確実に成長を達成していきます。

天然芝生の園庭

幼児期に転倒や怪我を恐れず、「やるぞ」「頑張るぞ」と、自らチャレンジする気持ちを育み、思いっきり走る体験が、一段早期の身体能力の向上を期待できるのです。

リスニング

イングリッシュ

Native English speaking teacher

英語の耳を育てるには、日々の保育の中でネイティブイングリッシュティーチャーから自然にシャワーを浴びることです。幼児期にはランチ後に絵本や遊びを通して、自然と『R』や『L』のリスニング能力を身につけます。聞く耳ができると、美しい発音ができます。



保育室

*国際的視野に基づき、日本文化を大切にすると共に、日本国歌を斉唱し国旗を掲揚します。